

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	高岡市きずな子ども発達支援センター（センター事業）			
○保護者評価実施期間	令和6年10月1日 ～ 令和6年10月30日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	34	(回答者数)	
○従業者評価実施期間	令和6年11月28日 ～ 令和6年12月6日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数)	
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月21日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・多職種の職員が支援にあたっており、互いに連携することで支援内容が図れる。	・訓練士（OT・ST・PT）と連携を図り、定期的に活動に入ってもらっている。また、療育終了後に担任保育士と振り返りを行い、クラス運営や個別の関わりに生かしている。 ・主治医、看護師、相談支援専門員とも連携を図っている。	・各職種との連携がスムーズになるよう、定期的な情報交換の場や合同研修を実施する。
2	・保護者支援、家族支援の充実	・定期的に個別懇談を実施しているほか、連絡ノートや電話懇談を通じて、都度保護者の相談に応じている。 ・ペーパーレス化を図り、各種便りの配信や連絡メールを活用した迅速な情報提供を実施している。 ・オンライン参観を通して、活動の様子を動画配信し、お子さんの療育を見ていただく機会を提供している。	・各取り組みや行事でいただいたご意見・アンケート結果等を活かし、今後の取り組みに反映させる。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・施設の老朽化	・エアコンやトイレ等の施設設備が老朽化し、故障や一時的な使用停止を実施することがある。	・必要に応じて、補修や改修を行う。
2	・兄弟児支援の充実	・直接的な兄弟支援のイベントが少ない（年1回、週末に家族で参加できる行事「ふれあい学級」を実施している。）	・限られた回数の中で、兄弟も満足感を得られるように活動内容の充実を図り、時間の取り方を工夫していく。
3			